

会議議事録

会議名	2021年度第1回福祉分野教育課程編成委員会
対象学科	介護福祉科
開催日時	2021年7月30日(金) 15:00~17:00 (2.0h)
場所	本校 505 教室
出席者 (敬称略)	<p>① 企業等委員：戸嶋哉寿男委員(杉並定期巡回連絡会代表)、丸山泰一委員(社会福祉法人池上長寿園統括事業所長)、(計2名)</p> <p>② 本校委員：橋本正樹(校長)、岩上由紀子(介護福祉科学科長)、熊谷 崇(介護福祉科教員) 中嶋純也(介護福祉科教員)、宮下明久(事務局参与)、(計5名)</p> <p>③ オブザーバー：武石稔弘(医療秘書科教員)(計1名)</p> <p>④ 事務局：土屋瑠美子 (参加者合計9名)</p>
欠席者	なし
配付資料	<p>① 事前送付：□資料1：2021年度福祉分野教育課程編成委員会名簿、資料2：2020年度第2回福祉分野教育課程編成委員会議事録、資料3-1：前回委員会以降の主な経過報告、資料3-2：2020年度就職先一覧、資料3-3：第33回介護福祉士国家試験受験の報告、資料4：2021年度重点目標と達成するための計画・方法、資料5-1：2021年度学科運営計画、□資料5-2：2021年度介護実習の日程、□資料6：2021年度教員研修計画</p> <p>② 当日配付：講義要項、入学案内書</p>
委員長	岩上学科長
議題等	<p>1. 事務局より今年度委員の確認(資料1)</p> <p>事務局より、前回までオブザーバーとして参加していた介護福祉科の中嶋教員が、今回より委員として参加するとの報告があった。</p> <p>2. 校長挨拶</p> <p>緊急事態宣言下においても、感染防止対策を十分に講じた上で週1回程度のオンライン授業を設け、それ以外は対面授業として行った。本校を卒業する学生の多くは新型コロナウイルスと共存していく世の中で、医療機関や施設等で仕事をするようになる。決して臆病にはならず、正しく恐れるというスタンスで自信を持って仕事をしてほしい。</p> <p>今後も実習等を含めて判断の難しい状況が続くと思うが、委員の皆様には福祉分野での教育についていろいろなご提言をいただきたい、との挨拶が行われた。</p> <p>3. 前回委員会議事録の確認(資料2)</p> <p>事務局より修正事項等について意見を求めたところ、丸山委員、戸嶋委員より、字句訂正の申し出があり、修正後の議事録を個人情報に関わる部分を削除して公開することが了承された。</p>

- | |
|---|
| <p>4. 2020 年度の第 2 回委員会以降の活動報告（資料 3-1～3）
資料 3-1～3-3 に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。</p> <p>5. 2021 年度重点目標と達成するための計画・方法（資料 4）
資料 4 に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。</p> <p>6. 2021 年度学科教育と学科運営（資料 5-1～2）
資料 5-1～5-2 に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。</p> <p>7. 教員研修（資料 6）
資料 6 に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。</p> <p>8. 2022 年度カリキュラム編成
2022 年度のカリキュラムについて意見交換が行われた。詳細は別紙のとおり。</p> <p>9. 次回日程、その他
次回の日程について協議し、2022 年 2 月 24 日（木）午前中に開催することが確認され、閉会した。</p> |
|---|

以上

2021 年度第 1 回福祉分野教育課程編成委員会の主な討議内容

4. 2020 年度第 2 回委員会以降の活動報告

資料 3-1：前回委員会以降の主な経過

宮下事務局参与より以下の報告が行われた。

(1) 2020 年度 退学の状況

- ・目標の 3.5%以内に収まった。
- ・新型コロナウイルスの影響で、学校業界全体で退学者が減る傾向にあった。

(2) 2020 年度 就職内定状況

(3) 2021 年度 在籍状況

資料 3-2：2020 年度 就職状況の報告

岩上学科長より以下の報告が行われた。

資料 3-3：第 33 回介護福祉士国家試験受験の報告

熊谷教員より以下の報告が行われた。

- ・振り仮名付問題用紙を希望した留学生は試験時間が 1.5 倍になった。
- ・試験日は 1 月 31 日だったが、2 年生は年明けから一度も登校せず、試験対策は全てオンラインで実施した。

○企業等委員からの質問・意見と回答等は次のとおり。

質問・意見等	回答等
オンラインによる試験対策と従来の対面とで差異はあったか。	□一概には言えない部分もあるが、一生懸命聞いている印象はあった。授業後に意見交換をする場面がなかったのは残念だった。

5. 2021 年度重点目標と達成するための計画・方法（資料 4）

橋本校長より資料 4 に基づき以下の説明が行われた。

・重点目標の前に、本年度の基本方針の中で、従来プレステージスクールという言い方をしていた部分を、出願者目線に立って、「ここで学びたいと思ってもらえる学校」という表現に変えた。

(1) TPC の育成と強化

- ・昨年度から発展したオンライン授業を有効活用し、対面型授業と組み合わせたハイブリッド型の授業運営の中で TPC の育成を考える。

(2) 新たな入学者層を対象とする教育プログラムと学びのサポートプログラムの開発

- ・18 歳人口が減少する中で、外国人留学生、職業訓練生、社会経験のある方等を対象にして多くの学生を集めたい。

(3) 入学者定員の充足

- ・優秀な人材、特にリーダー層を育てるという攻めの姿勢で定員を確保したい。

6. 2021 年度学科教育と学科運営（資料 5-1～2）

○岩上学科長より資料 5-1 に基づき以下の説明が行われた。

・介護福祉科の教育運営では外国人留学生と職業訓練生の受入れの拡大を掲げているが、厳しい状況である。

・外国人留学生の教育サポート体制については、日本語支援のサポートをしている。

・学科運営計画については、オンライン授業の有効活用も視野に入れ、学生が学ぶことの楽しさを実感し、自主的に学びを深める機会を積極的に提供する。

・マナー指導や実習・学校行事などの場も活用し、行動することで自ら学んでいくプロセスを学生に体感させる。

・学生目線・入学者目線での「学びやすさ、魅力的な授業科目の設定」を次年度カリキュラム策定に向けての最重点課題とし、可能な範囲での具体的提示を試みる。

・次年度のカリキュラムの中に ICT の授業を取り入れたいので、ご意見を伺いたい。

・年間計画は、昨年度とほぼ同じ内容になっている。6月に行っていた 1、2 年合同の保護者会は要検討課題。

・介護事務管理士検定は任意としているが、卒業生から必要性を感じるとの意見があるのでカリキュラム上は残している。

○中嶋教員より資料 5-2 に基づき 2021 年度介護実習の日程に関する報告が行われた。

・介護実習Ⅰ（第 1 段階介護実習）は、6 月 10 日～6 月 25 日で行った。

・介護実習Ⅲ・Ⅳ（第 3 段階介護実習・在宅介護実習）は最終段階の調整をしているが、PCR 検査、ワクチン接種の有無など、受入れ側の基準がまちまちで条件に合わないところもある。

・介護実習Ⅱ（第 2 段階介護実習）は、10 月 18 日～11 月 11 日で 1 年生が 2 回目の実習に行く。

○企業等委員からの質問・意見と回答等は次のとおり。

質問・意見等	回答等
PCR 検査の費用は学校が負担しているのか。	□実習先の中には同一法人内に病院があり、実習の初日にそこで検査をしてくれたり、無料でやってくれる施設もあるので、今のところはあまり負担なく行けているが、今後有料のところが出てくれば、学校が負担することになるのではないかと。
厚労省から施設側で負担しなさいという通達が出ているが、それを守っているところはあまりないということか。	そこはこちらから言えないので、条件に合った学生を向けるようにしている。

7. 教員研修（資料 6）

岩上学科長より資料 6 に基づき以下の報告が行われた。

・昨年度中止になった介養協主催の前後期の研修は、オンラインになる可能性がある。

・関東信越ブロックの研修は、日時は未定だがオンラインでの開催になる。

・6 月 30 日に学内で「大学・専門学校における新型コロナウイルス感染防止対策」をテーマに、オンラインによる講義を受けた。

8. 2022年度カリキュラム編成

岩上学科長より、「人間と社会」の領域に関する授業内容を検討しているので、現場で必要とするスキルなどについてご意見をいただきたいとの説明の後、意見交換を行った。

○企業等委員からの質問・意見と回答等は次のとおり。

質問・意見等	回答等
<p>□現場での ICT の活用は必然で、職員不足に対応するため業務改善、生産性向上が目的になっている。導入すれば合理化、省力化につながるものなので、そこを学習するというのはどういうことなのかと感じた。</p> <p>在宅のほうも過渡期で、今は LINE のようなツールで情報共有がされている。逆に学生は慣れているので、あまり教えるということ意識しなくてもよいと思う。訓練生は教育が必要かもしれない。</p> <p>「パソコン基礎」は、最低限の基礎的などころは教えていただきたい。今はツールが発達しているので、ICT を使ったコミュニケーションルールを学ばせてはどうか。</p> <p>科目として設置しなくてもよいか。</p>	<p>□難しい内容ではなく、本当に基礎的などころでよいと理解した。</p> <p>スマホのレベルからパソコンに落とし込んで伝えている実態がある。</p> <p>今年の講義は、介護の現場で ICT がどう使われているかが理解できる内容で、学生の理解が深まった。</p> <p>GIGA スクール構想の目的は、第 4 次産業革命 (IoT による家電へのインターネット導入、ビッグデータ、AI 活用など) に向かっていくための情報活用能力を身につけることであり、それに対応する新しい科目を考えていく必要があると思っている。</p> <p>コミュニケーションツールとしての ICT の他に、福祉用具を含む生活支援技術の中にも ICT の活用という項目がある。両方を絡めた部分を作ったほうがよいと考えている。</p> <p>内容的には現場のものをそのまま持ってくることは難しいので、知識を身につけさせることになる。科目名とのバランスを取ることを考えたい。</p> <p>基礎科目の 1 つとして位置づけるので、端末、ネットワーク、クラウド等の仕組みを理解する科目でもよいのではないかと。</p> <p>ICT リテラシーについては、様々な授業でより実践的な部分や現場での活用方法を導入する重層的な学びがポイントになると思った。</p>

<p>オープンキャンパスに向けてアドバイスを伺いたい。</p> <p>養成校で2年間学んだ人と現場から上がってきた人とで差があるのか、正直なところを伺えればと思う。</p> <p>モチベーションを上げるために、どのような指導をしているのか。</p>	<p>介護技術が一般の人にオーソライズされていないので、養成校で模範演技のような形で見せることはできないか。</p> <p>養成校を出てくると、介護特有の言語は習得できている。</p> <p>学校によって差はあるが、養成校出身の若いスタッフを見ていると、アセスメントする力、気づく力については秀でているところがある。介護課程などで深く考える力を養っているのだと思う。</p> <p>介護の仕事は想像力が要求される。持って生まれた能力やキャパシティに差があるので、言われたことをきちんとやるという段階までしか行けない人と、リーダーになる人とは分かれてしまう。</p> <p>同時にスタートしたら、2年間現場でやった人にはかなわないと思っている。養成校出身者は、最新の知見もある程度知っている点を広報活動できればよい。</p> <p>介護福祉士の高みを目指してほしいと思っているが、学生に響く言葉が出てこない。そこを皆さんと一緒に開発していければと思う。</p>
--	---

以上